

皆さん！深大寺音頭を聞いたことがありますか？

# おしゃべりサロン「相互塾」



(第28回)

<入場無料>

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

## 深大寺の今昔と蕎麦談義

日 時：平成14年5月27日（月） 午後7時～9時

場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：嶋田 太郎さん

深大寺そば処 元祖 嶋田家 第五代目 店主、深大寺修景推進協議会 事務局長

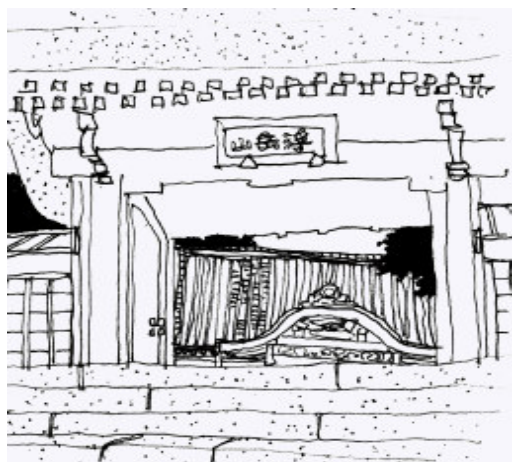
深大寺の湧水を産湯に使い、院内を砂場として遊び育った私は昭和、戦前、戦後から平成現在に至るまで深大寺界隈の変貌を誰よりもつぶさに見て来た一人です。

今や関東天台名刹深大寺は別格本山として市民都民はじめ関東近県の憩いの場、遊園の場として来山、観光客で賑わいます。戦前に深大寺を訪れた古老は、かつて親しんだ独歩の武蔵野の面影が失われて行く姿に嘆く。

一方、明治大正、俳句人や文豪の文士達に愛された深大寺の湧水でさらした腰の強い深大寺そばは、唯一軒から今や20数件のそば処として急成長を見た。——水と緑と寺とそば——深大寺の今昔から昭和変貌史を語り合い、また今後の種々な問題を指摘提起しながら、共に21世紀の深大寺を考えてみたい。

更に40数余年の経験と実績を一人のそば店主として、そばに関する談義に浸りながら、共にそば通になることを願っています。

【終了後懇親会(実費2千円前後)を行います】



絵：沖崎 剛

深大寺そば組合の会長さんでもある語り手の嶋田さんには、珍しくて、楽しい話が期待しています。浮世絵あり、深大寺音頭ありで、話のおみやげを、いっぱい持ち帰っていただけるはずです。

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

E-mail [mmanob@sepia.ocn.ne.jp](mailto:mmanob@sepia.ocn.ne.jp)

(ウラへ続く)